

# 令和6年度 県立工業技術センター研究課題評価結果

個 票 No.	研究課題名	評価項目	評価結果			委員コメント  (※類似コメントは集約)
			平均 得点	合計 得点	採否	
6	【追跡評価】 皮革の抗菌・抗カビ化に 関する研究	企業への直接的効果	4.7	16.6	達成	<p>【評価の結論に至った理由・考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>皮革の抗菌・抗カビ化に関する研究は皮革産業の向上に期待できる。</li> <li>兵庫県工業技術センターでしかできない研究内容である。兵庫県の伝統工業である皮革を継承していくことの難しさや重要性がわかった。</li> <li>事業開始時には有効であった。</li> <li>皮革会社が技術を採用し、展示会にも出した。</li> <li>複数件、製品化されている。</li> <li>皮革の高価値化に貢献している。</li> <li>きちんとした評価結果を出していて成果は上がっている。</li> </ul> <p>【提案機関へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実用化例を今後増やしていき、皮革産業へのさらなる貢献を期待しております。</li> <li>今後、技術のノウハウを継承するための組織体制の整備が必要と考えられる。</li> <li>技術スキルの言語化、体系化、伝承(暗黙知の形式知化)をよりしくお願いします。</li> <li>成果が出ている。</li> <li>技術の普及に努めていただき、県産皮革のステータスを向上して頂きたい。</li> </ul>
		副次的・波及効果	4.0			
		県施策への貢献	4.1			
		今後の研究への発展・フィードバック効果	3.7			
7	【追跡評価】 杻糸と織物組織を用いた 先染織物の意匠性向上に 関する研究	企業への直接的効果	4.1	15.7	達成	<p>【評価の結論に至った理由・考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>杻糸織物組織を用いた先染め織物のファッション性がまだうまく表現できていないように思いますが、今後の取り組みに期待したいと思います。</li> <li>研究の遂行に努力されていることがわかった。</li> <li>技術的には一定の成果に達したと思われるので、ぜひ意匠、デザイン的な検討を続けてほしい。</li> <li>実際にビジネスになるのか不明だが、企業のニーズはある。</li> <li>劇団四季と舞台衣装について共同開発を行っている。副次効果としてモアレが発生する条件を明らかにした。</li> <li>新しいグラデーションを開発したという点では評価できる。</li> </ul> <p>【提案機関へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>劇団四季の舞台衣装・舞台装置に関する共同開発はとても良いと思います。</li> <li>市場性を明確にして研究を推進する必要があるのではないか。</li> <li>学生とのコラボレーションはいいアイデアと思う。若い人のアイデアを取り入れてほしい。</li> <li>知名度向上に頑張ってください。</li> <li>播州織でグラデーションを実現しようとする開発ですが、マーケットとしてはどうでしょうか。</li> <li>研究が進んでいる。</li> <li>これに限らず、播州織のイメージアップ、製品力の向上に貢献していただきたい。</li> </ul>
		副次的・波及効果	4.1			
		県施策への貢献	3.9			
		今後の研究への発展・フィードバック効果	3.6			

# 令和6年度 県立工業技術センター研究課題評価結果

個 票 No.	研究課題名	評価項目	評価結果			委員コメント  (※類似コメントは集約)
			平均 得点	合計 得点	採否	
8	【追跡評価】 深層学習を利用した画像 からの物体認識技術に関 する研究	企業への直接的効果	4.4	16.6	達成	<p>【評価の結論に至った理由・考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・深層学習を利用した画像からの物体認識技術は企業にとって必要な技術であると思います。</li> <li>・研究成果が製品化に結びつき、企業への直接的効果も上がっている。</li> <li>・技術の進歩の速いAI分野でキャッチアップするのは難しい。その中であって直接的効果をあげられたのは評価できる。</li> <li>・R2の研究で企業で実用化済。</li> <li>・多数の研究発表と企業との共同研究を行っている。試作機が作製されており、引き合いが来ている。</li> <li>・応用事例を通じて成果を出していると評価できる。</li> </ul> <p>【提案機関へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果発表会、講演会の開催を今後も実施し、技術の普及に務めてもらいたい。</li> <li>・成長が著しい分野であるため、得られた成果を今後どのように活用・発展させていくかが課題である。</li> <li>・引き続き生成AI(画像&amp;言語)の導入支援に尽力していただきたい。</li> <li>・AI/IoT関連の技術のフォローアップをお願いしたい。</li> <li>・センター内でAIに関する知見を蓄積することは重要ですので、継続していただきたいと思います。</li> <li>・少しレベルが低いと思う。</li> <li>・関連する技術の進歩ははげしいので追いつくのは大変ですが、視点を変えて技術の応用を地域産業に広げ、レベルアップを図っていただきたい。</li> </ul>
		副次的・波及効果	4.1			
		県施策への貢献	4.0			
		今後の研究への発展・フィードバック効果	4.0			
9	【追跡評価】 3Dプリンタで造形した 砂型の特性および活用性 評価	企業への直接的効果	4.7	17.4	達成	<p>【評価の結論に至った理由・考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県の産業強化への貢献度が高い。</li> <li>・平成29年度に導入されてから、様々な面で成果を上げておられ、大いに評価できる。県内企業への貢献度も大きく、必要性・発展性の高い研究である。</li> <li>・研究の目的、方法が明確で、成果のまとめ方も良い。成果の効果、貢献もさまざまに出ており、評価できる。</li> <li>・メーカーで研究成果の実用化が図られている。</li> <li>・学会発表、共同研究、依頼造形を継続的に行っている。また、検討結果を装置メーカーにフィードバックし装置改造を行っている。すでに実用化している企業に技術指導を行っている。</li> <li>・砂型の基本特性を明らかにした点は評価できる。</li> </ul> <p>【提案機関へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業支援や、学会発表、テクニカルサポートなどで実績を出し、しっかりと活用できていると思います。</li> <li>・他メーカーへの働きかけや性能の向上を図る研究をお願いしたい。</li> <li>・国産機の普及に向けて何が強みで何が課題かクリアにし、研究開発の方向性を明らかにする必要がある。</li> <li>・成果が出ている。</li> <li>・地域の製造品メーカーへのフィードバックをよろしく願いたい。技術の普及を図ってください。</li> </ul>
		副次的・波及効果	4.3			
		県施策への貢献	4.1			
		今後の研究への発展・フィードバック効果	4.3			